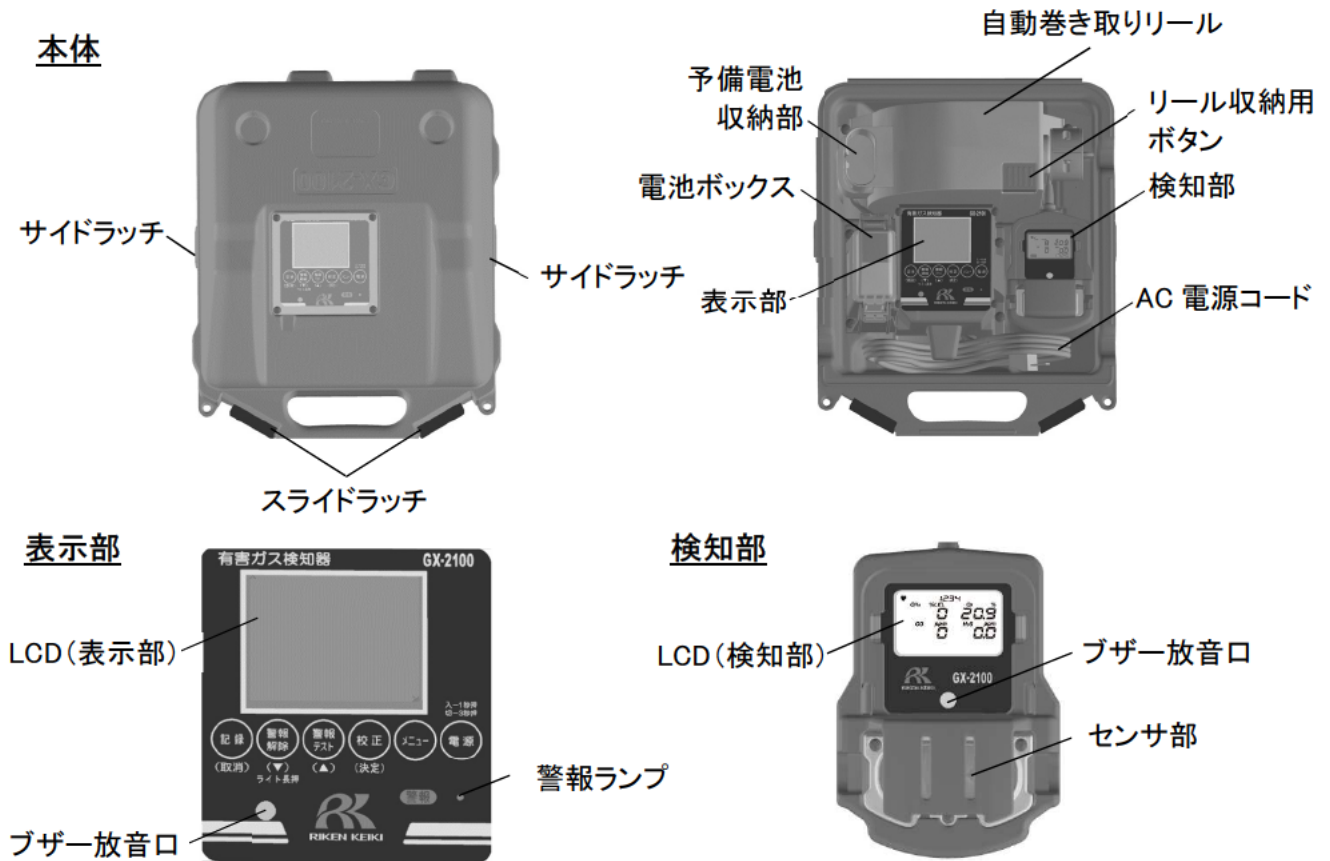


GX-2100 型 簡易取扱説明書

各部名称



始動準備

- ・サイドラッチ(2箇所)を外し、スライドラッチ(2箇所)をハンドル方向にスライドさせ、本体上ケースを開けます。
- ・検知部のフィルターが汚れていないこと、目詰まりがないことを確認してください。

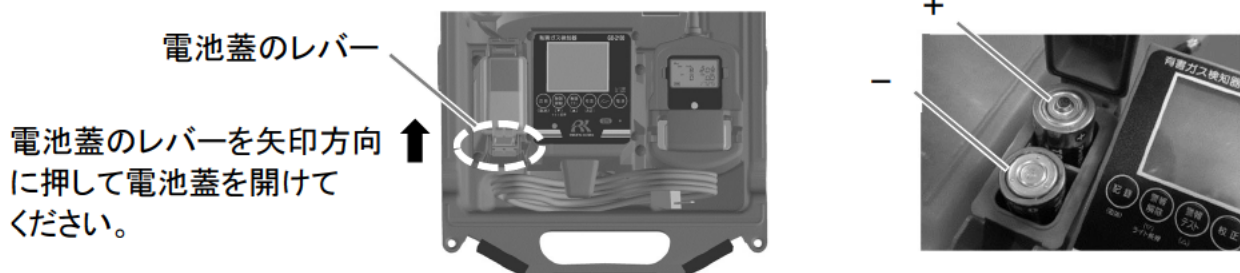
AC電源の接続／電池の装着方法

AC電源で使用する場合

電源コンセントを商用電源(AC100V)のコンセントに接続して使用してください。

電池で使用する場合

電源がOFFの状態、電池の極性に注意して新品の単2形アルカリ乾電池を2本挿入してください。



注記：詳細は取扱説明書をご参照願います。

基本操作

1. ケーブルの引き出し方法

コードリール本体を固定して先端の検知部をもってケーブルを引き出します。

<ケーブルの引き出し方法>



2. 電源の入れ方

[電源]ボタンをブザーがピッと鳴るまで(1秒以上)押します。電源が入った後、LCDが自動的に切り替わり、測定画面に進みます。

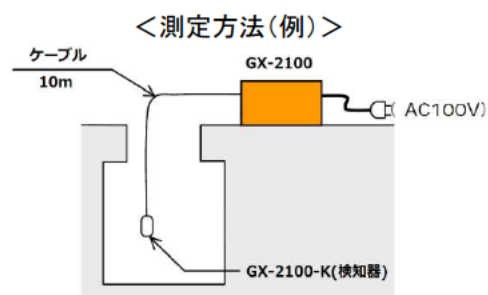


警告

- 電源投入時に自動でゼロ校正を実施しますので、周辺にガスがないことを確認してください。

3. 測定方法

蓋を閉めた状態で安定した場所に置きます。検知部を測定箇所を持って行き、本体ケース上部の窓より測定値表示を読み取ってください。



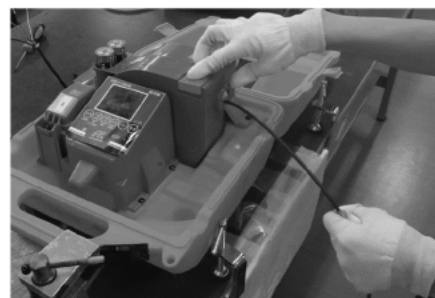
4. 電源の切り方

電源を切るときは、安全な場所で表示がゼロ(0、酸素の場合は 20.9%)に戻ってから、[電源]ボタンを約3秒間長押しします。ブザーが3回鳴り、本体LCDに「電源オフ」と表示され、電源が切れます。

5. ケーブルの巻き取り方法

ケーブルを片手でガイドしながら、自動巻き取りリール上部にある収納用ボタン(黄色)を押して巻き取ります。

<ケーブルの巻き取り方法>



6. 各種機能: ゼロ校正

周辺にガスがないことを確認してから行ってください。

測定モード画面で[校正]ボタンを3秒以上長押し、本体LCDに「校正中」と表示されたら[校正]ボタンを離します。ゼロ校正が完了するとLCDに「校正終了」と表示され、自動で測定モード画面に戻ります。

7. 各種機能: スナップショット(瞬時値記録)

ボタンを押したときの測定値を、最大512件記録することができます。

測定モード画面で[記録]ボタンを押し、記録するか確認する画面が表示されたら[決定]ボタンを押します。